

22
王
聖徒伝 243

光のあるうちに 光を信じなさい

エレミヤ書 22章

エホヤキン王への裁きの宣告

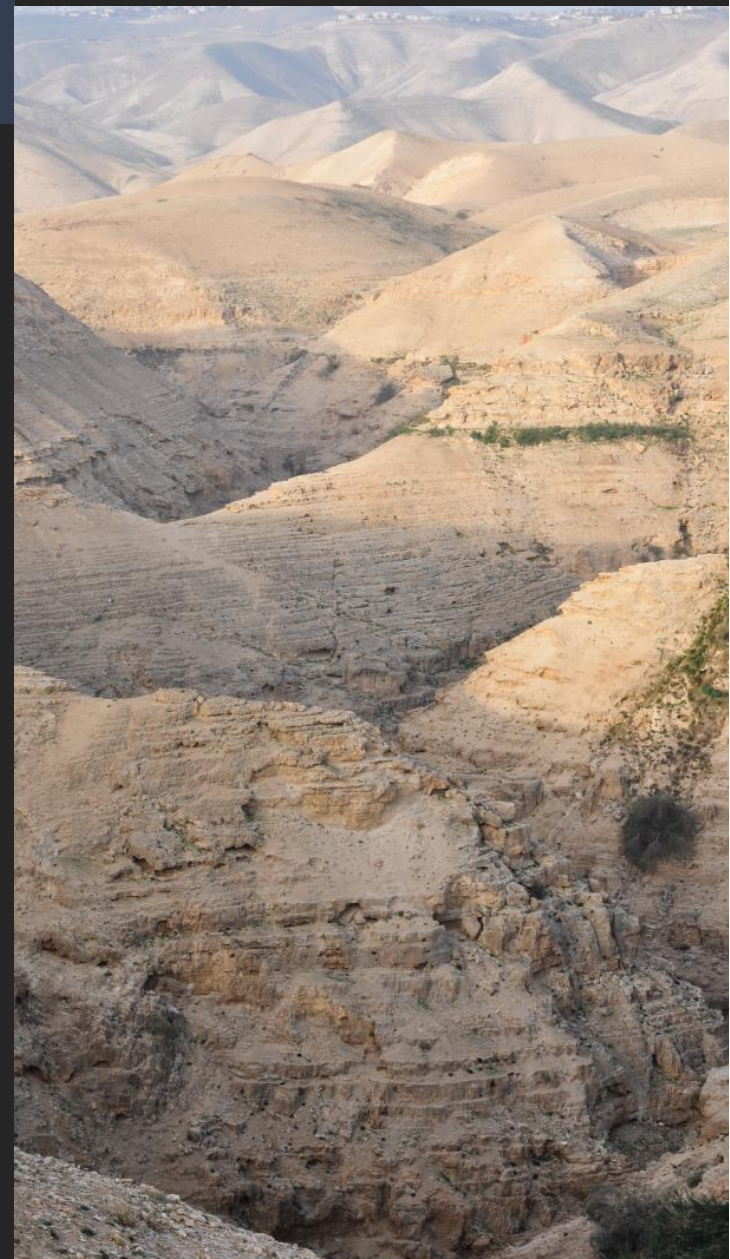
Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

- I. 王家への警告 22:1～9
- II. 先の王たちへの裁き 22:10～23
- III. 第二次バビロン捕囚 22:24～29
- IV. まとめと適用

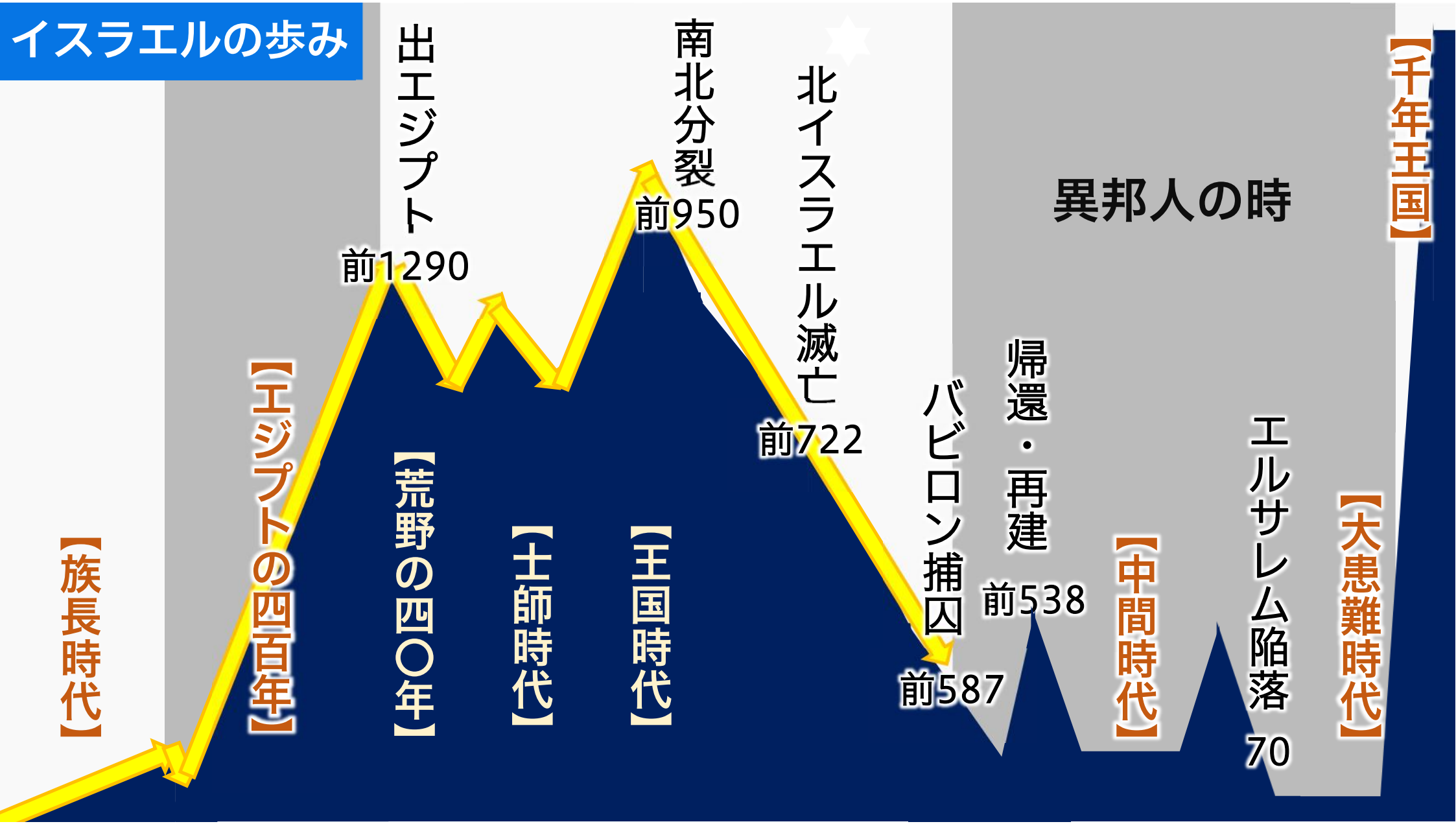
最後まで残されている救いの希望



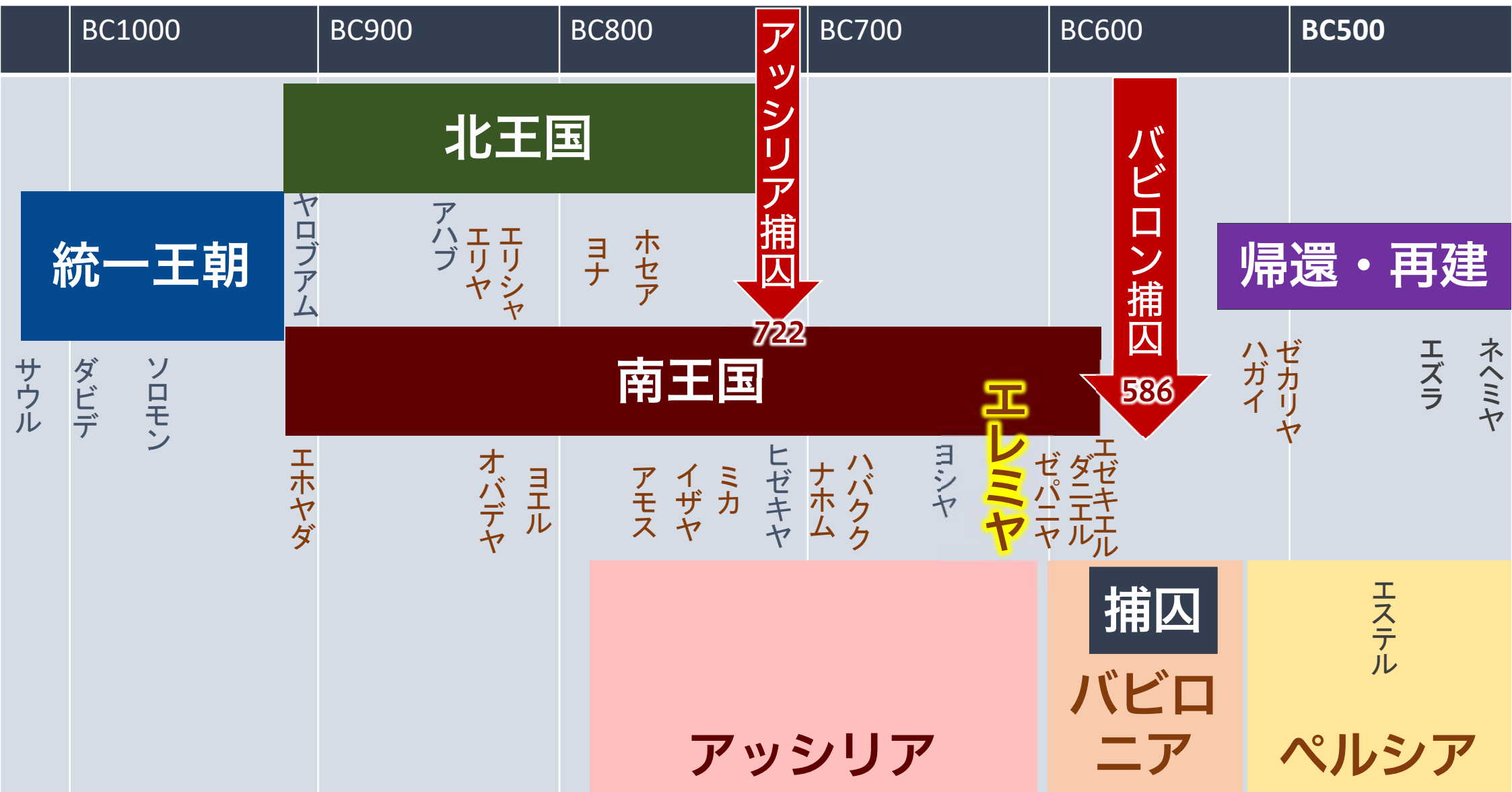


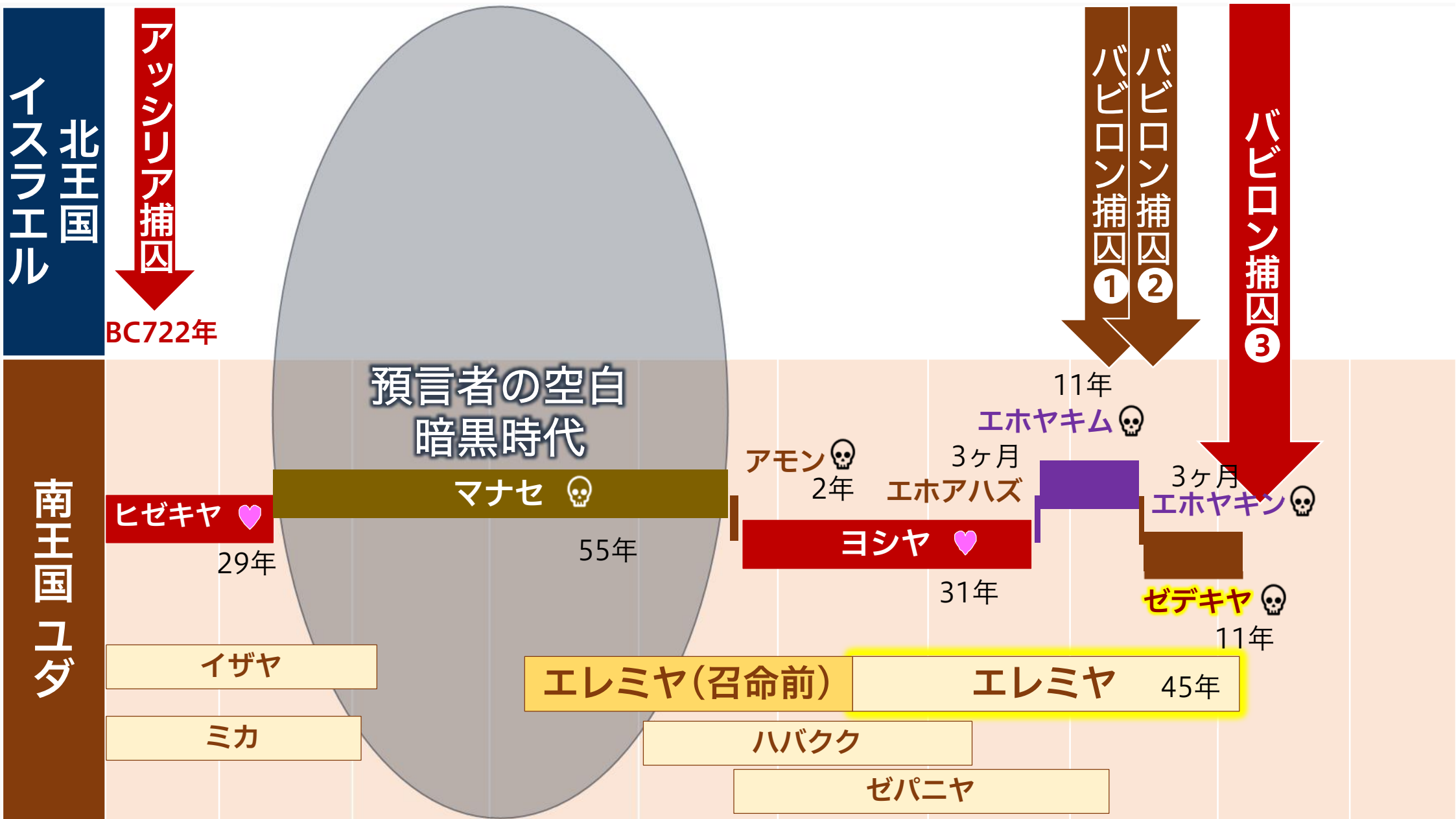
0. イントロダクション

イスラエルの歩み



イスラエル王国史





エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※年代は混在)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※年代は混在)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

最後の王たち

ヨハナン

第一次捕囚

第二次捕囚



キリスト



①⑨エホヤキン
(エコンヤ)
18歳～(3ヶ月)



①⑧エホヤキム
25歳～(11年)

エジプトで死



①⑦エホアハズ(シャルム)
23歳～(3ヶ月)

バビロンで死



②⑩ゼデキヤ 21歳～(11年)

第三次捕囚



①⑥ヨシヤ
8歳～(31年)

ヨシヤの子たちの年齢順は？

■ Ⅱ 列王記23～24章（Ⅱ 歴代誌36章）の記述に基づくと、

①エルヤキム ②エホアハズ ③ゼデキヤ

■ Ⅰ 歴代誌3:15では、

「ヨシヤの子は、長子（第一に）ヨハナン、
次男（第二に）エホヤキム、三男（第三に）ゼデキヤ、
四男（第四に）シャルム。」

➡第四が、年齢順で四男を指すとは限らない

最後の王たち

ヨハナン

第一次捕囚

第二次捕囚



キリスト



①⑨エホヤキン
(エコンヤ)
18歳～(3ヶ月)

今日のスポットは
エホヤキン王

エジプトで死

バビロンで死

第三次捕囚



①⑧エホヤキム
25歳～(11年)



①⑦エホアハズ(シャルム)
23歳～(3ヶ月)



②⑩ゼデキヤ 21歳～(11年)



①⑥ヨシヤ
8歳～(31年)

エホヤキンに告げられる、捕囚の裁き

- 主は、エホヤキンに、回心を促し、裁きを告げる。
- 先々代の王・おじエホアズは、エジプトで虜囚の身。
先代の王・父エホヤキムは、バビロンで虜囚の身。
➡おじも、父も、虜囚先で悲惨な最期を迎える
- そして、エホヤキンには、第二次バビロン捕囚が迫る



I. 王家への警告

エレミヤ書22章1～9節

エルサレムの谷間の町

警告 主のことば エレミヤ22:1～2

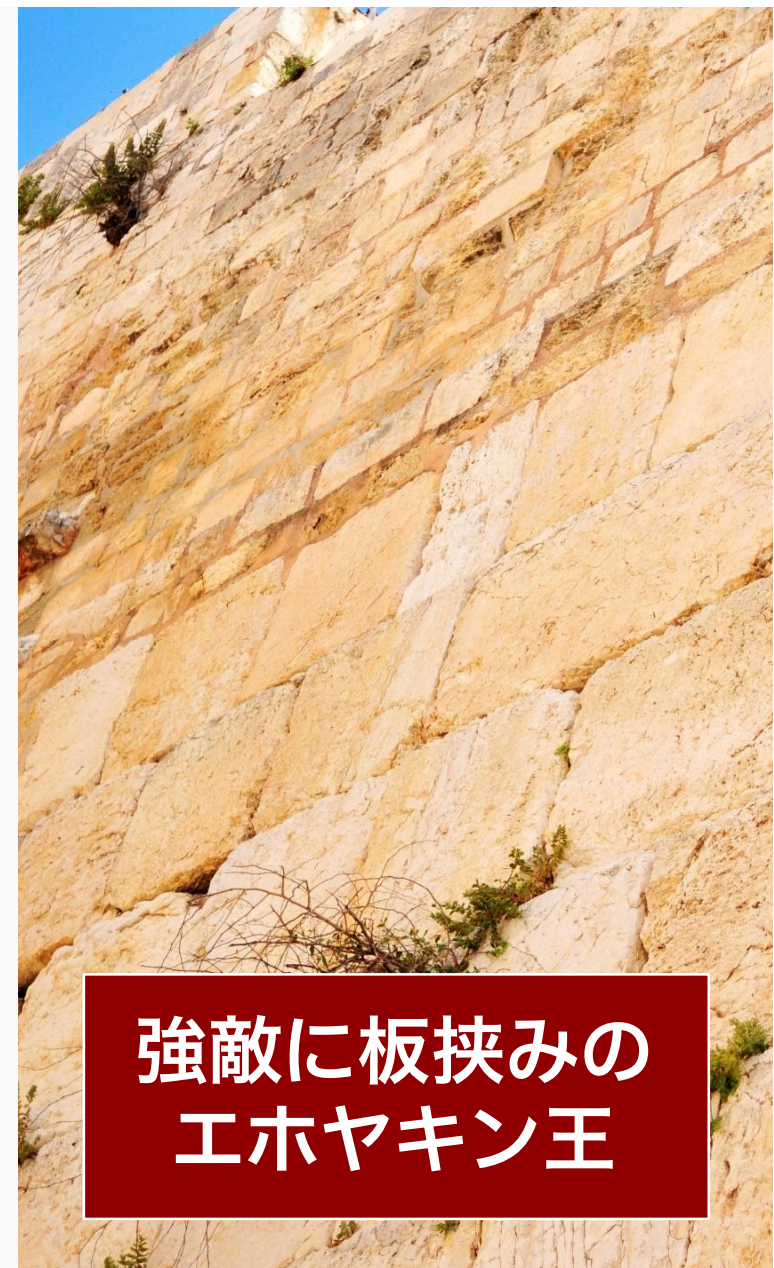
【主】はこう言われる。「ユダの王の家に下り、そこでこのことばを語れ。

『ダビデの王座に着くユダの王よ。あなたも、これらの門の内に入って来るあなたの家来も、またあなたの民も、【主】のことばを聞け』

■ 22章の一連の警告は、エホヤキン王に向けられたもの。

➡ 父エホヤキムは、南のエジプトで人質

➡ 北からは、バビロニアが侵略



強敵に板挟みの
エホヤキン王

警告

公正と正義を エレミヤ22:3

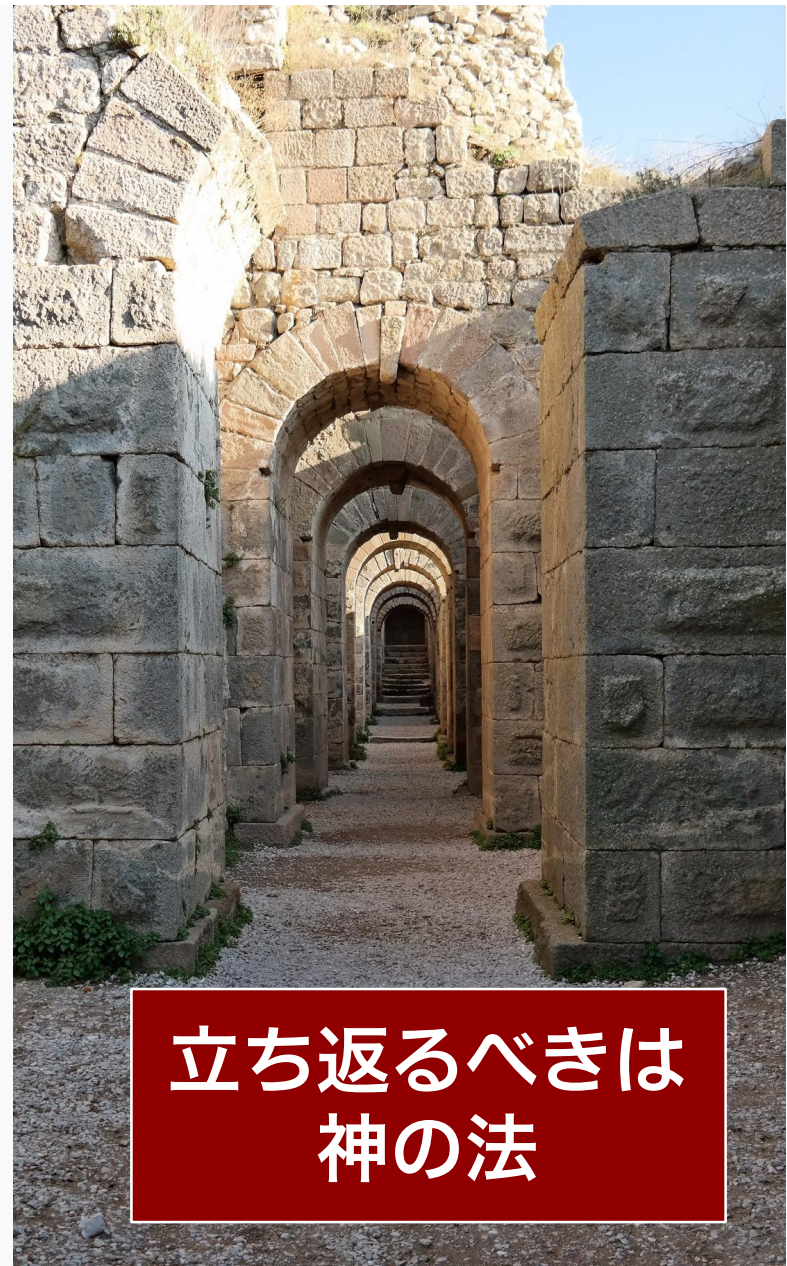
【主】はこう言われる。公正と正義*を行い、かすめ取られている者を、虐げる者の手から救い出せ。寄留者、みなしご、やもめを苦しめたり、いじめたりしてはならない。また、咎なき者*の血をここで流してはならない。

＊主の律法にのっとった公正と正義

＊筆頭が預言者。主に忠実な信仰者たち。

➡歴代の悪王は、預言者を迫害

■公正な裁き(統治)、社会的弱者の保護は、律法が指導者に課した重大な責務。



立ち返るべきは
神の法

警告

祝福の約束 エレミヤ22:4

もし、あなたがたが**このことば**を忠実に行うなら*、ダビデの王座に着く王たちは車や馬に乗り、彼らも、その家来も、またその民も、この家の門の内に入ることができる。

＊**律法**を守る者への祝福は、**変わらずある**

■ 神の目には、立ち返る王は現れないのが、
明らかだが、**律法の原則**は変わらない。

➡**守る者には祝福、破る者には呪い**



警告

王家の凋落 エレミヤ22:5～6

しかし、もしこのことばを聞かなければ、わたしは自分にかけて誓うが——【主】のことば——この家は必ず廃墟となる。』」

まことに、ユダの王の家について、【主】はこう言われる。「あなたは、わたしにとってはギルアデ、レバノンの頂*だが、必ず、わたしはあなたを荒野にし、住む人もいない町々にする。」

*ヨルダン川東岸、イスラエル北方

■ アブラハムへの約束は、永遠に有効だが、目の前に迫った裁きは逃れようがない。



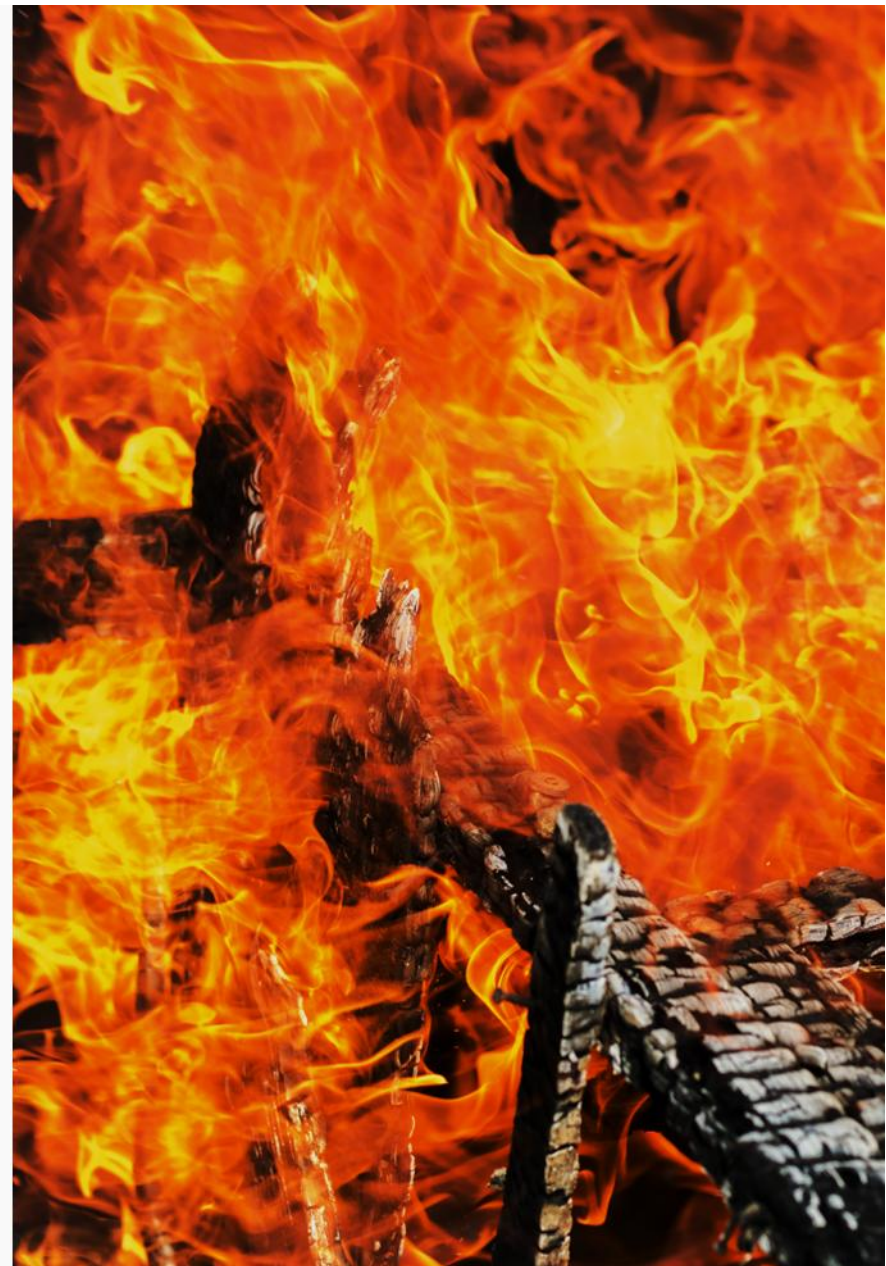
警告

破壊者たち エレミヤ22:7

わたしはあなたを攻めるために、それぞれ武具を持つ破壊者たちを取り分ける。彼らは、最も美しいあなたの杉の木*を切り倒して火に投げ入れる。

＊希少で非常に高価な輸入材

■ ソロモン以来、王たちは、王宮を主の神殿以上に豪華に飾り立てていた。



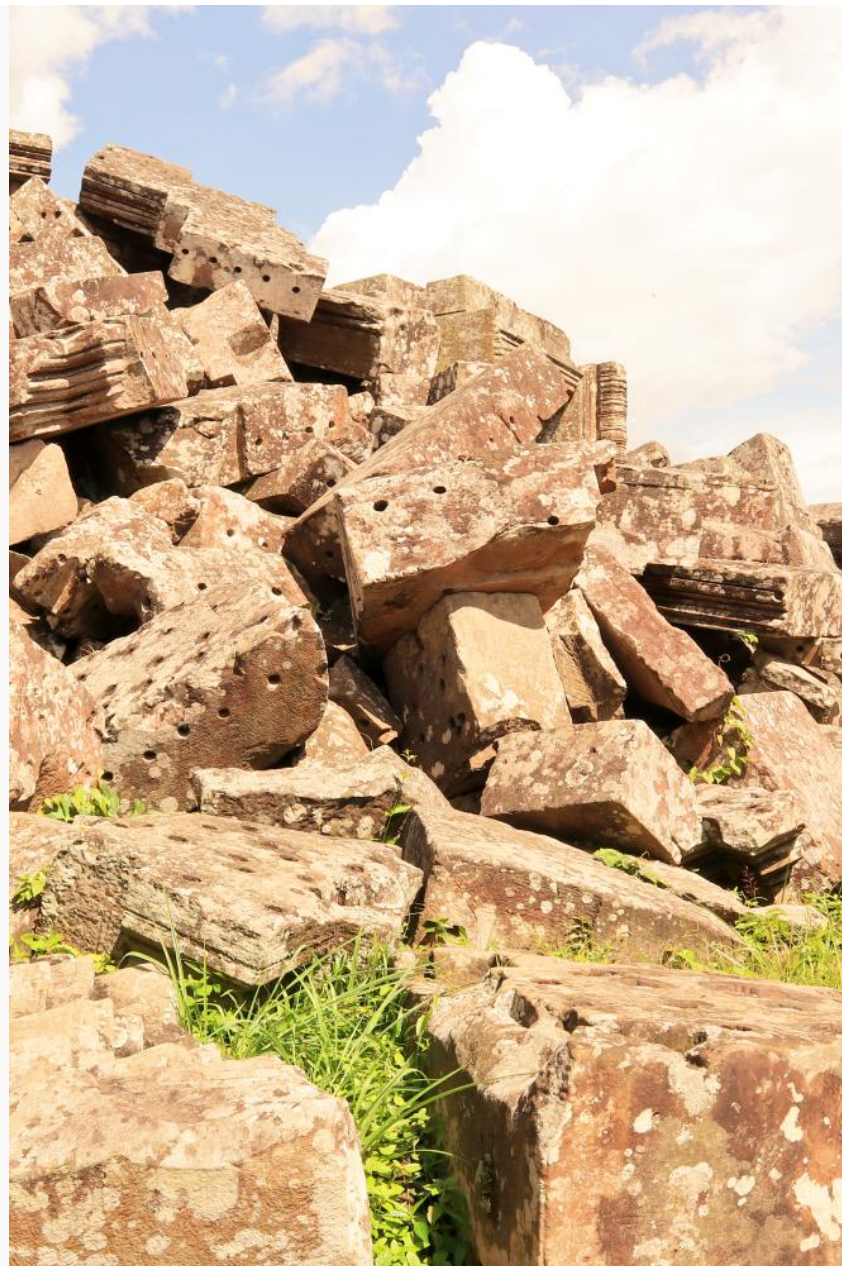
警告

神の怒りの結末 エレ22:8～9

多くの国々の者がこの都のそばを過ぎ、彼らが互いに、『何のために、【主】はこの大きな都をこのようにしたのだろうか』と言えば、人々は、『彼らが、自分の神、【主】の契約を捨ててほかの神々を拝み、仕えたからだ*』と言う。」

＊モーセを通して警告。申命記29:24～25

神の法を破ったのが裁きの理由





Ⅱ. 先の王たちへの裁き

エレミヤ書22章10～23節

ユダの荒野

御告げ 虜囚のために エレ22:10

死んだ者のために泣くな。その者のために嘆くな。去って行く者のために、大いに泣け*。彼が再び帰って、故郷を見ることがないからだ。

＊捕らえられていく者の上には、死んだ者たち以上の苦難が!!



ユダの荒野

御告げ

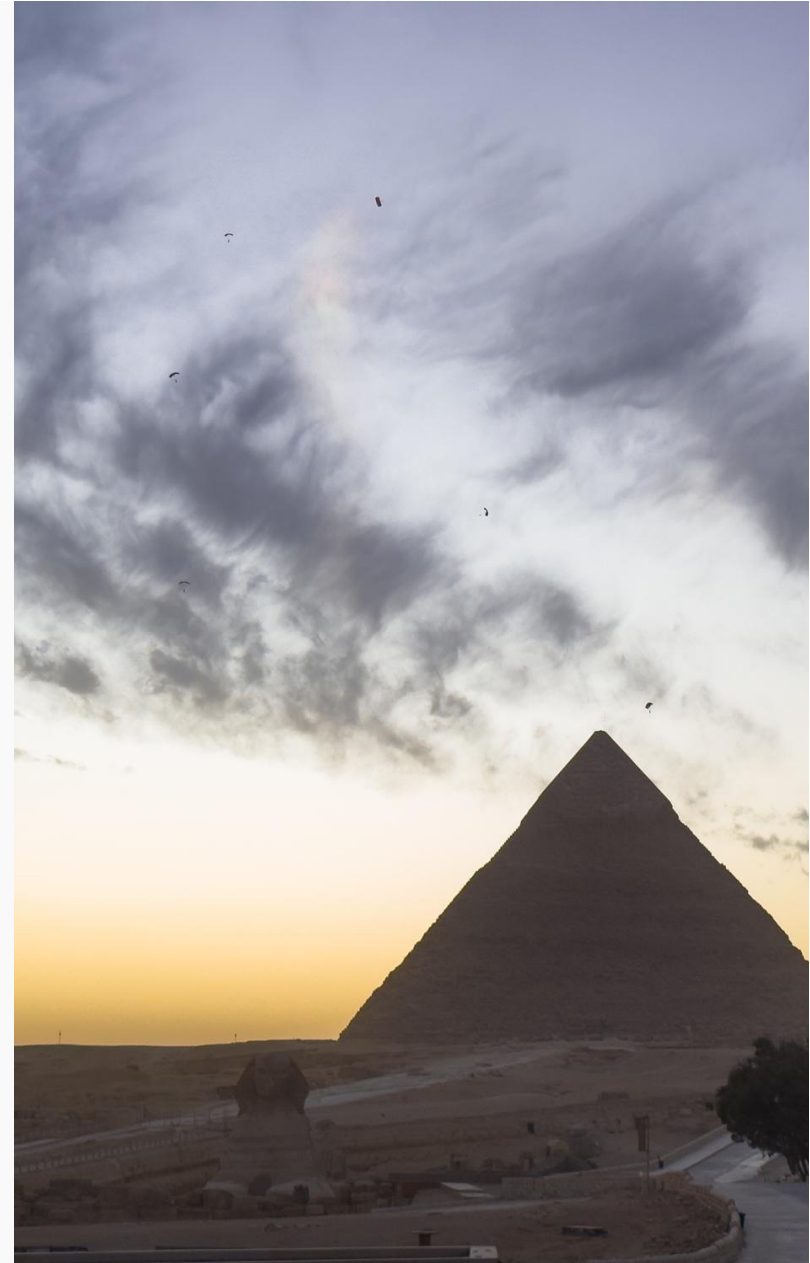
虜囚の死 エレミヤ22:11～12

父ヨシヤに代わって王となった、ヨシヤの子、ユダの王シャルム*について、【主】はまことにこう言われる。「彼はこの場所から出て行って、二度とここには帰らない。

彼は引いて行かれた場所で死に、再びこの地を見ることはない。」

*エホアハズ王

■エホヤキンのおじ・先々代の王エホアハズは、エジプト王ネコに捕らえられ、エジプトで虜囚となっていた。



最後の王たち

ヨハナン

第一次捕囚

第二次捕囚



キリスト

①⑨エホヤキン
(エコンヤ)
18歳～(3ヶ月)

①⑧エホヤキム
25歳～(11年)

エジプトで死

①⑦エホアハズ(シャルム)
23歳～(3ヶ月)

バビロンで死

②⑩ゼデキヤ 21歳～(11年)

第三次捕囚

①⑥ヨシヤ
8歳～(31年)

エホヤキンのおじ・エホアハズ王の罪

■列王記第二 23:31～32

エホアハズは二十三歳で王となり、エルサレムで三か月間、王であった。彼の母の名はハムタルといい、リブナ出身のエレミヤの娘であった。

彼は、すべてその先祖たちがしたように、
【主】の目に悪であることを行った。

御告げ

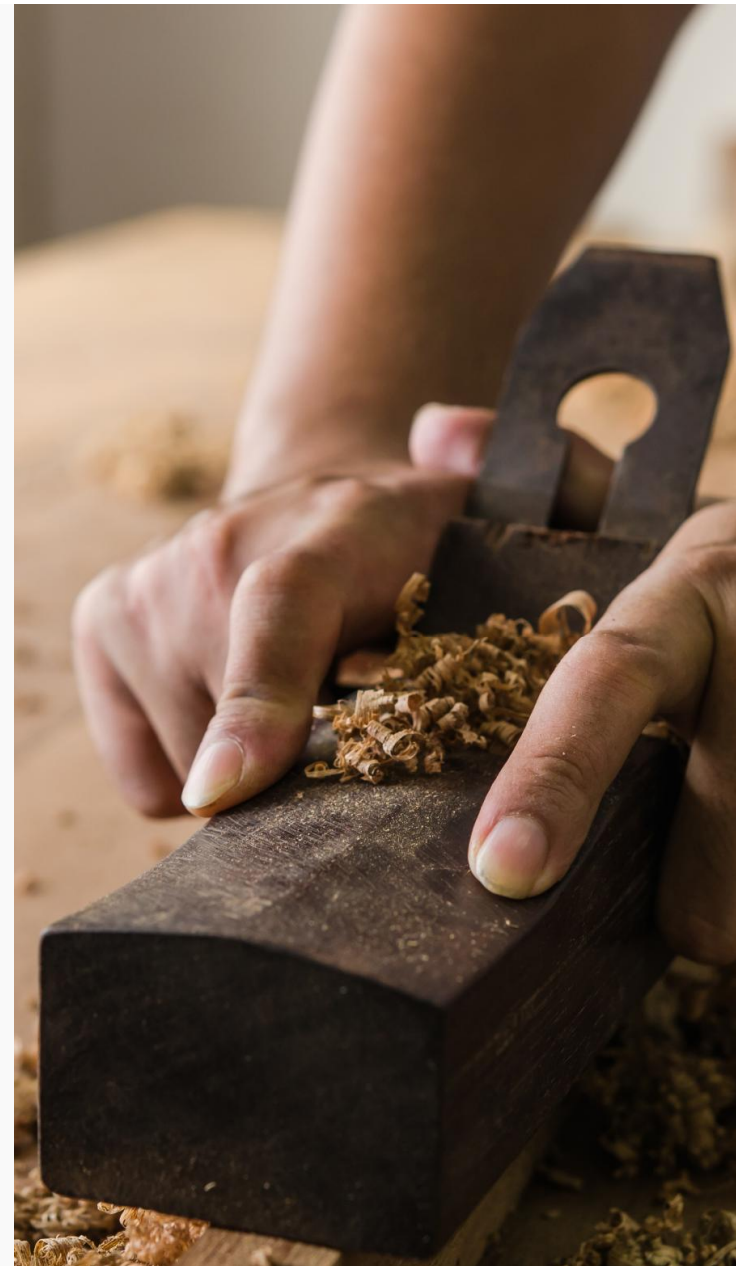
不義 エレミヤ22:13～14

「わざわざいだ。不義によって自分の家を建て、不正によって自分の高殿を建てる者たち。隣人をただで働かせて報酬も払わず、

『私は自分のために、広い家、ゆったりとした高殿を建てよう』と言い、それに窓を取り付けて、杉の板でおおい、朱を塗る者は。

■ 民に報酬もなく強制労働を課し、
高価な建材を用いた贅沢な邸宅を建てた。

➡不義と貪欲の極み



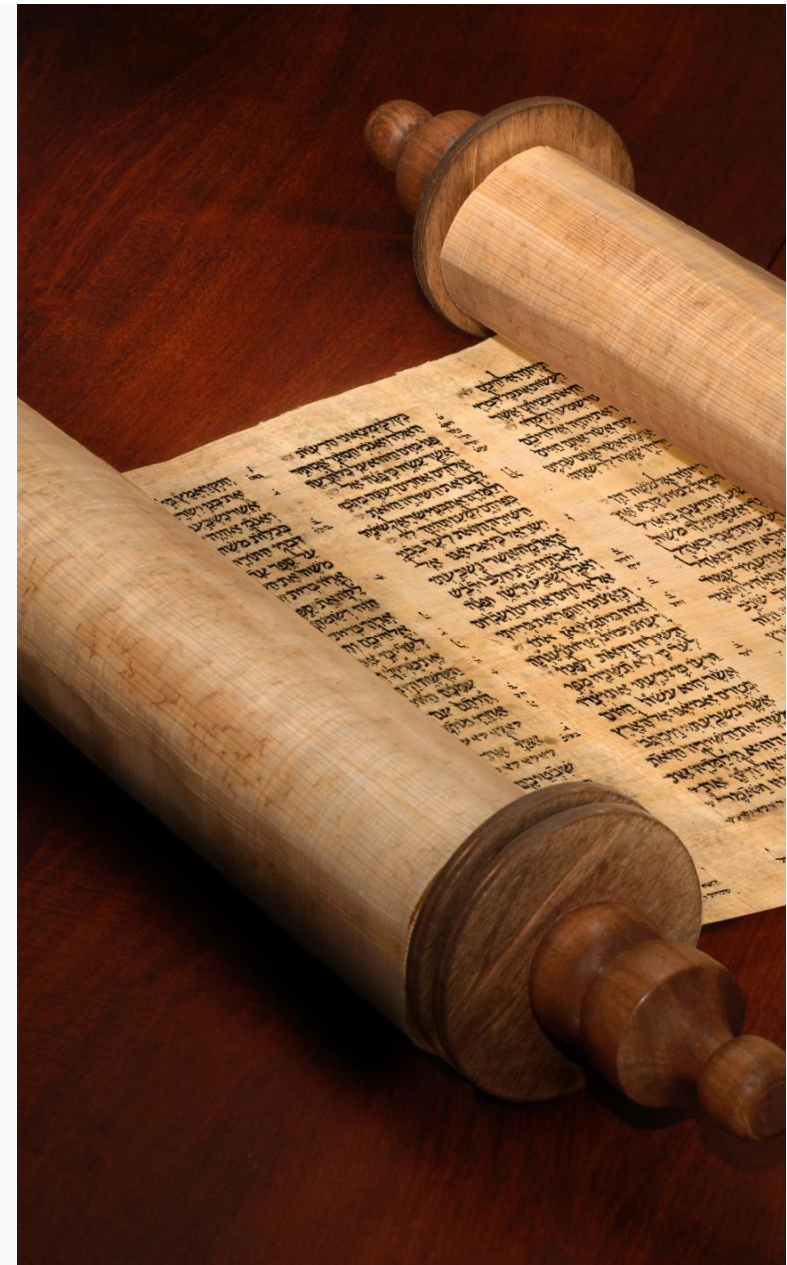
御告げ 義と祝福 エレミヤ22:15

あなたは杉の木で競って、王になろうとするのか。あなたの父*は食べたり飲んだりし、公正と義を行ったではないか。そのとき、彼は幸福であった。

＊最後の善王となったヨシヤ王

■ヨシヤ王は、主の律法に立ち返り、正しく国を治め、大いに祝福された。

神の法に従うことが、幸い



御告げ

善王の幸福 エレミヤ22:16

虐げられた人、貧しい人の訴えを擁護し、
彼は、そのとき幸福であった。それが、
わたしを知っていること*ではないのか。

——【主】のことは——

しかし、あなたの目と心は、自分の利得に、
さらには、咎なき者の血を流すこと、虐げ
と暴虐を行うことにだけ向けられている」

＊主を知る ➡主の命令に従うことから

「神の命令を守ること、それが、神を愛する
ことです。 Ⅰヨハ 5:3」



御告げ

悪王の末路 エレ22:18～19

それゆえ、ヨシヤの子、ユダの王エホヤキム* について、【主】はこう言われる。「だれも、『ああ、悲しい、私の兄弟よ。ああ、悲しい、私の姉妹よ』と言って彼を悼まず、だれも、『ああ、悲しい、主よ。ああ、悲しい、陛下よ』と言って彼を悼まない。

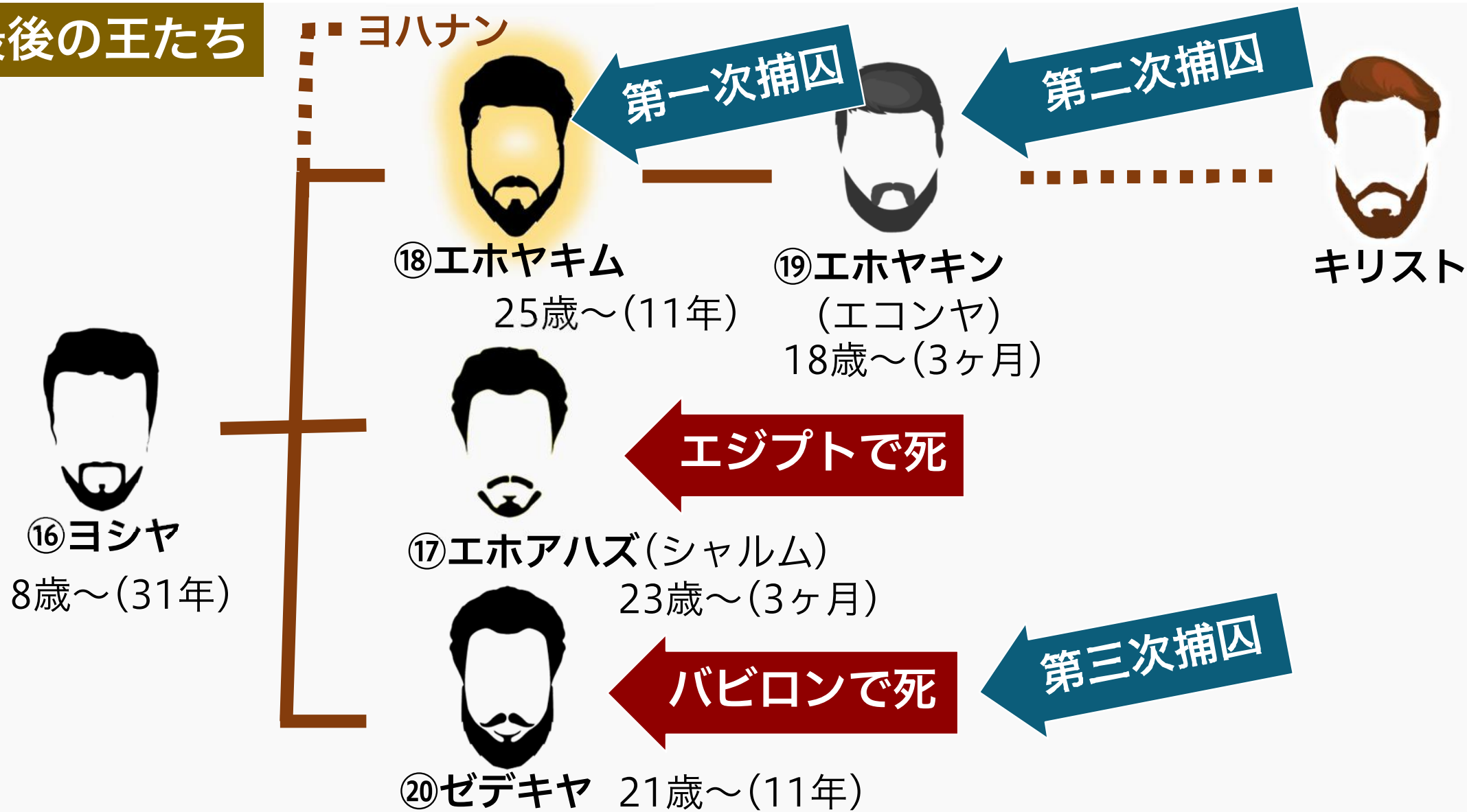
彼はエルサレムの門の外へ引きずられ、投げ捨てられて、ろばが埋められるように埋められる。」

■ 捕囚となった父エホヤキム* の最期は悲惨



ユダの荒野

最後の王たち



エホヤキンの父・エホヤキムの罪

■歴代誌第二36:5～8

エホヤキムは二十五歳で王となり、エルサレムで十一年間、王であった。彼は自分の神、【主】の目に**悪**であることを行なった。

彼のもとに、バビロンの王ネブカドネツアルが攻め上って来て、彼を青銅の足かせにつなぎ、バビロンへ引いて行なった。

ネブカドネツアルは、【主】の宮の器をバビロンに持ち去り、バビロンにある彼の宮殿に置いた。

エホヤキムについてのその他の事柄、彼が行った**忌み嫌うべきこと**、彼について**露見したことは**、『イスラエルとユダの王の書』にまさしく記されている。

御告げ

叫び エレミヤ22:20～21

「レバノンに上って叫び、バシャンで声をあげ、アバリムから叫べ。あなたの恋人たちがみな、砕かれたからだ。

あなたが平穏であったときに、わたしはあなたに語りかけたが、あなたは『私は聞かない』と言った。わたしの声に聞き従わないということ、これが、若いころからのあなたの生き方だった。

■ 主の命令を知っていながら、主に背いた。

➡この責任は重い



御告げ

恥辱の時 エレミヤ22:22～23

あなたの牧者たちはみな風に追い立てられ、
あなたの恋人たちは捕らわれの身となって
行く。そのとき、あなたは自分のすべての
悪のゆえに、恥を見、辱めを受ける。

レバノンの中に住み、杉の木の中に巣ごも
りする女よ*。あなたに陣痛が、産婦のよう
な激痛が襲うとき、あなたはどんなにうめ
くことだろう。」

■レバノン産の高級杉材の豪邸生活*は、
激痛を伴う裁きによって打ち砕かれる。

捕囚による
神の裁きは
これから本番





Ⅲ. 第二次バビロン捕囚

エレミヤ書22章24～29節

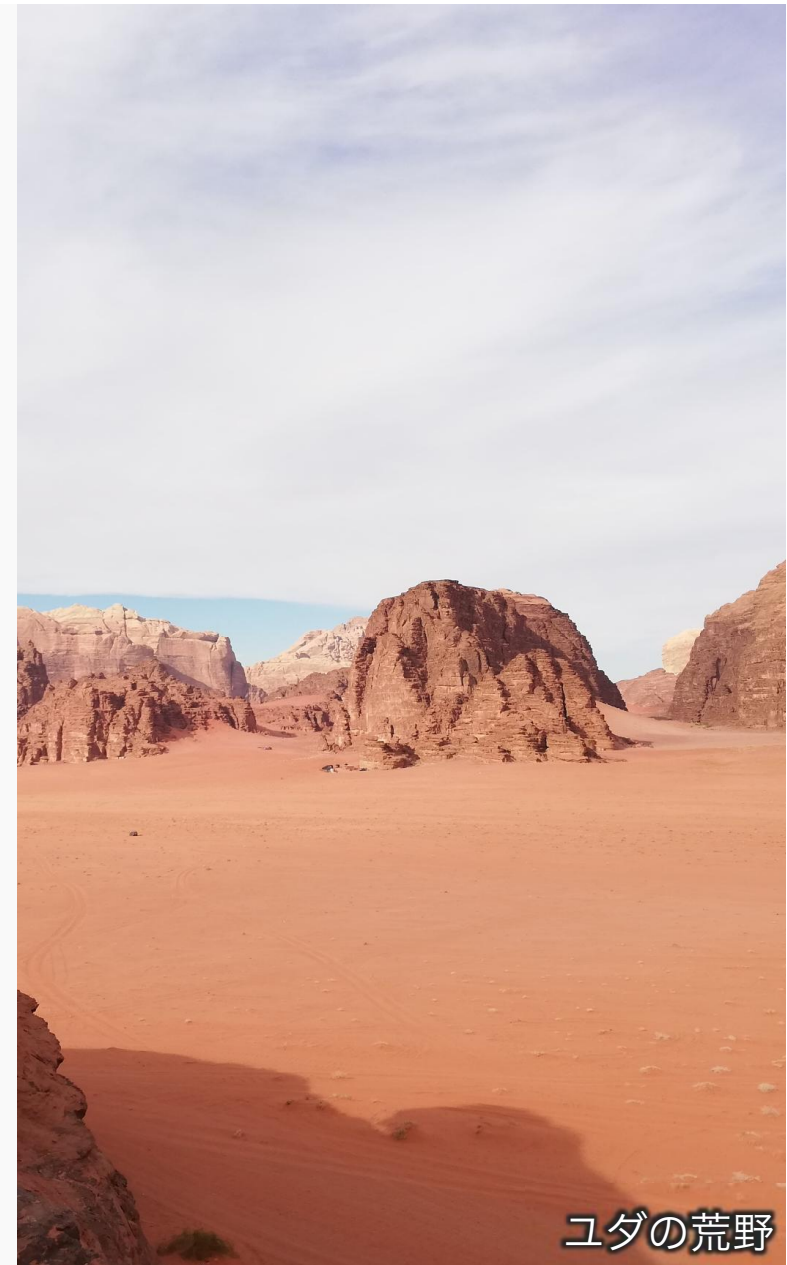
死海の沿岸

御告げ

バビロン捕囚 エレ22:24～25

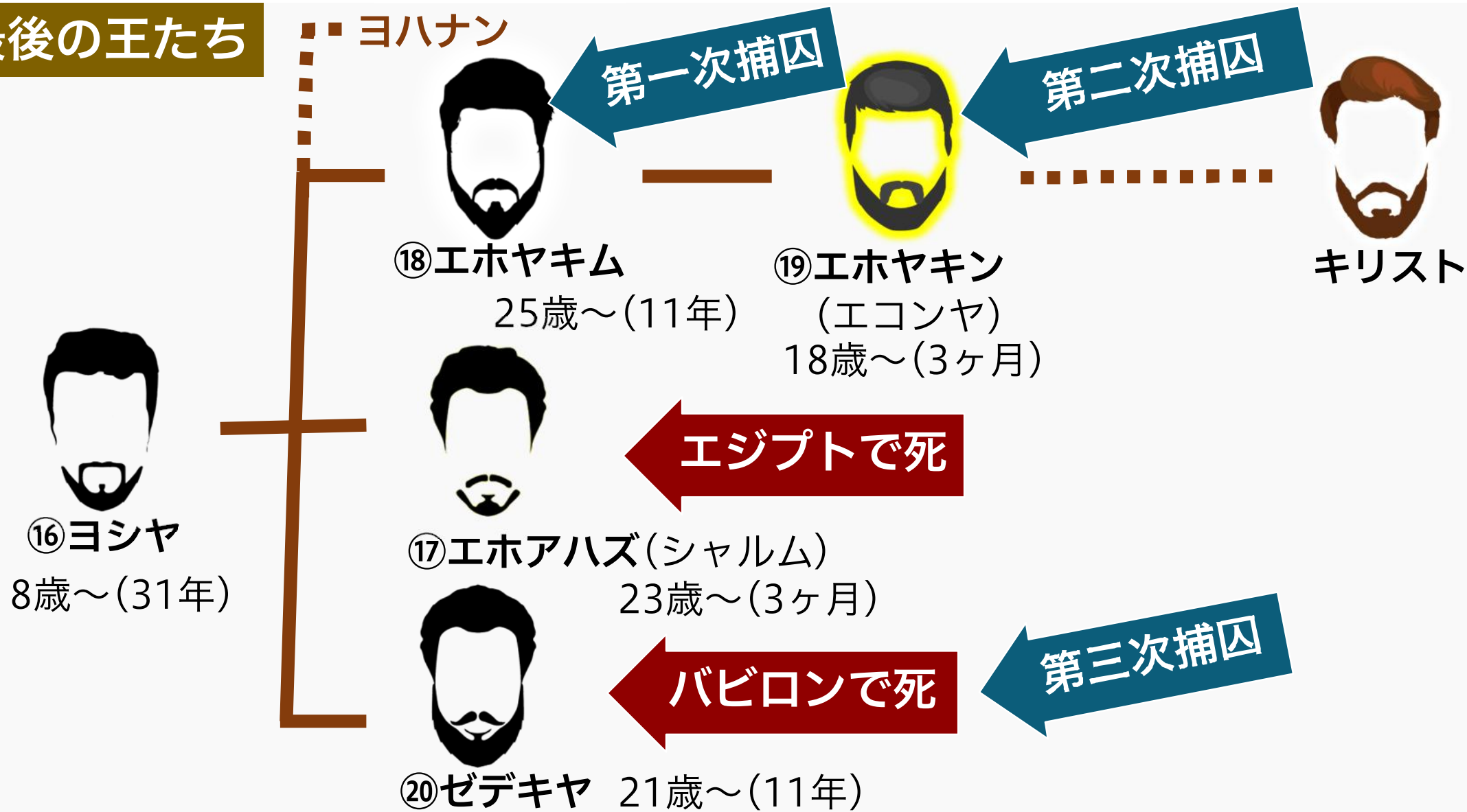
「わたしは生きている—【主】のことば—。
ユダの王、エホヤキムの子エコンヤ*は、わたしの右手の指輪の印ではあるが、わたしは必ずあなたを指から抜き取り、あなたのいのちを狙う者たちの手、あなたが恐れている者たちの手、バビロンの王ネブカドネツアルの手、カルデア人の手に渡し、

■エホヤキン王*は、バビロニア(カルデア)によって、第二次バビロン捕囚に!!



ユダの荒野

最後の王たち



御告げ

捕囚の地で エレミヤ22:26

あなたと、あなたの産みの母を、あなたがたが生まれたところではない、ほかの地に放り出し、そこであなたがたは死ぬことになる。

彼らが帰りたいと心から望むこの地に、彼らは決して帰らない。」

■ 70年に及んだバビロン捕囚。

ほとんどは、捕囚の身で死に絶えた。

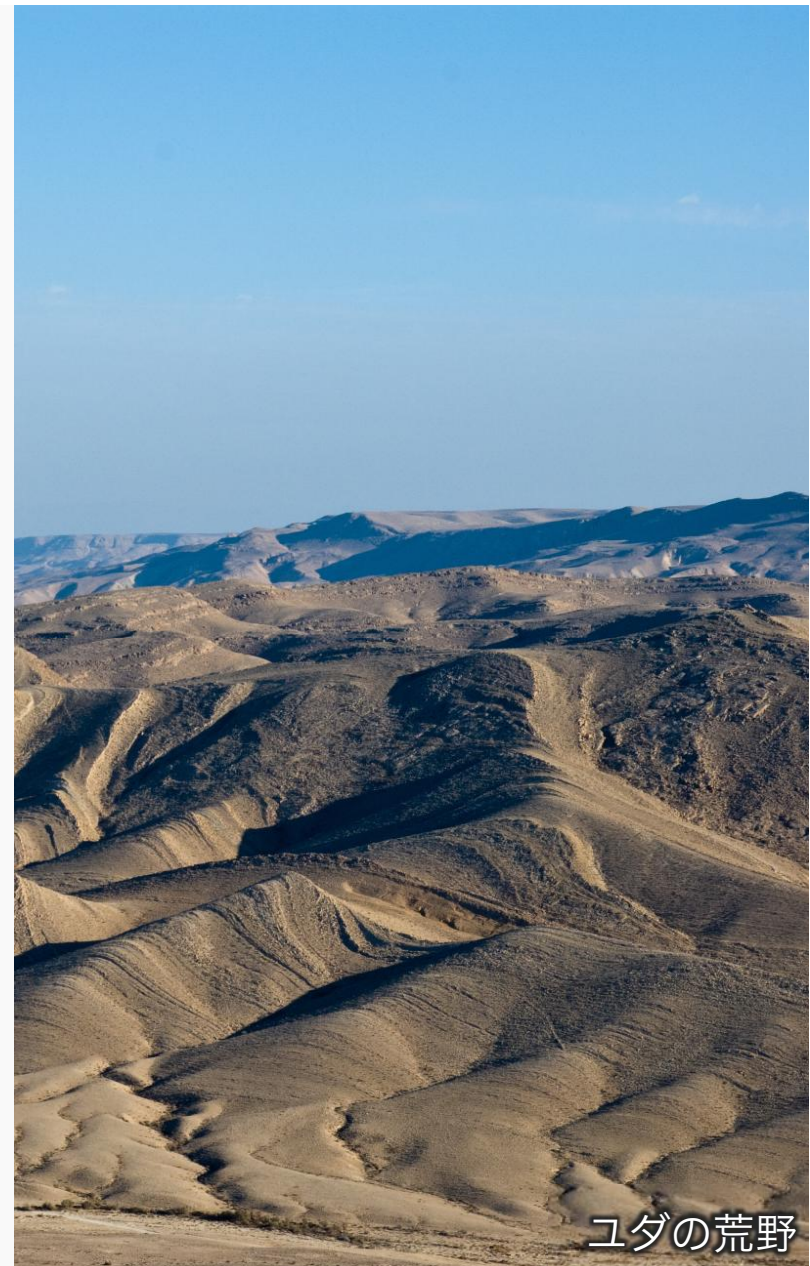


警告

裁きの理由 エレミヤ22:28

この人エコンヤは、蔑まれて碎かれる像*なのか。だれにも顧みられない器なのか。なぜ、彼とその子孫は投げ捨てられ、見も知らぬ地に投げやられるのか。

＊捕囚を招いた最大の罪は、偶像礼拝



ユダの荒野

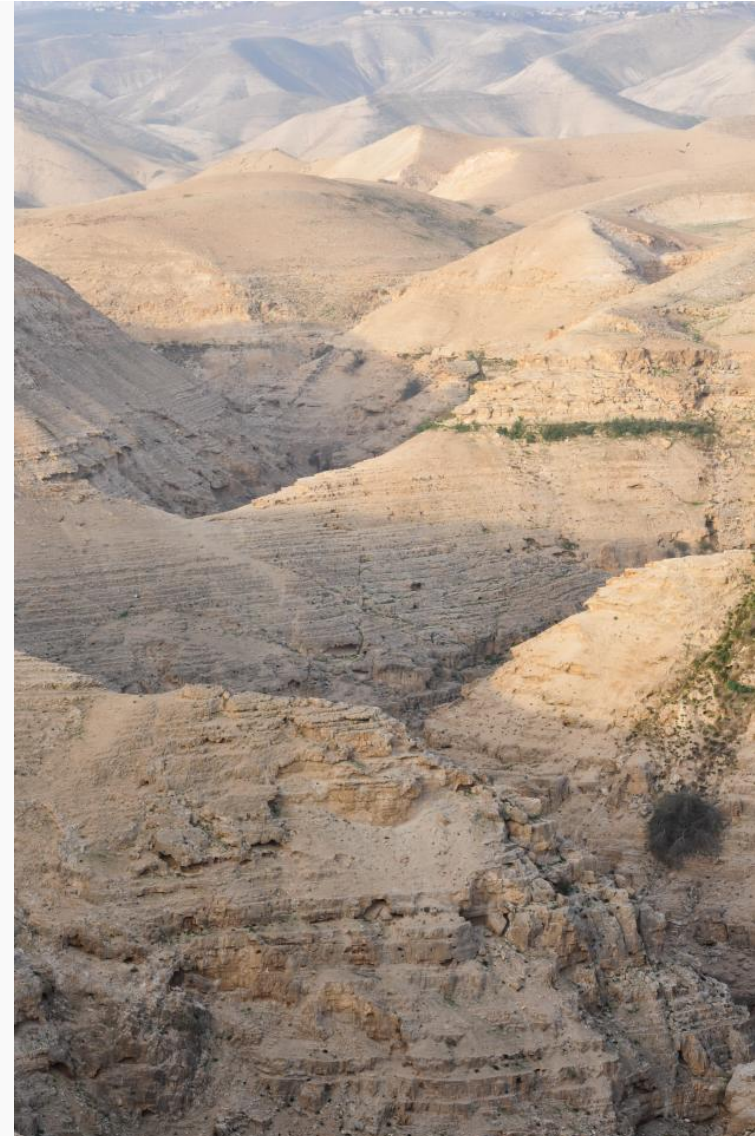
御告げ 地よ エレミヤ22:29～30

地よ、地よ、地よ*、【主】のことばを聞け。

「【主】はこう言われる。この人を『子を残さず、一生栄えない男』と記録せよ。彼の子孫のうち一人も、ダビデの王座に着いて栄え、再びユダを治める者はいないからだ」

＊他にはない、ここだけの表現

■エホヤキンには、七人の息子がいたが、王位につく者は、一人もいなかった。



この御告げから間もなく、第二次バビロン捕囚が!!



Ⅲ. まとめと適用

最後まで残されている救いの希望

ユダの荒野に咲く花

エホヤキンに残されていた恵み

- 先々代の王・おじエホアズは、エジプトで
先代の王・父エホヤキムは、バビロンで
➡ 御告げ通り、おじも父も、虜囚先で悲惨な最期を
- エホヤキンは、第二次バビロン捕囚で虜囚となった。
➡ しかし、まだ恵みが残されていた。

エホヤキンに残されていた恵み

■列王記第二25:27～30

ユダの王エホヤキンが捕らえ移されて三十七年目の第十二の月の二十七日、バビロンの王エビル・メロダクは、王となったその年のうちにユダの王エホヤキンを牢獄から呼び戻し、優しいことばをかけ、バビロンで彼とともにいた王たちの位よりも、彼の位を高くした。

彼は囚人の服を脱ぎ、その一生の間、いつも王の前で食事をした。彼の生活費はその日々の分を、一生の間、いつも王から支給されていた。

エホヤキンに残されていた恵み

- エホヤキン王は、捕囚の身となり、バビロンで投獄。
- 37年後、55歳の時、バビロンの王エビル・メロダクの恩赦を受け、以後は、王の食卓に招かれ、平穏な日々を。
- 主が告げられた通り、故郷への帰還は適わず、子が王になることもなかったが、エホヤキン王の生涯を通じて、主が共におられた。

エホヤキンに残されていた「救い」

■ マタイ福音書1:11～13,15～16

バビロン捕囚のころ、ヨシヤがエコンヤ(エホヤキン)とその兄弟たちを生んだ。

バビロン捕囚の後、エコンヤがシェアルティエルを生み、シェアルティエルがゼルバベルを生み、ゼルバベルがアビウデを生み、

マタンがヤコブを生み、ヤコブがマリアの夫ヨセフを生んだ。キリストと呼ばれるイエスは、このマリアからお生まれになった。

エホヤキンに残されていた 「救い」

- マタイ福音書1章に記されたのは、
エホヤキンが王となる前の名・エコンヤ。
- イスラエルの王としては認められていないが、
悔い改めて、罪赦され、メシアの系図を継ぐ者とされた。
- この世で生かされ、命を与えられている限り、
悔い改めて主を信じるのに、手遅れはない。

すべての人に、今、注がれている恵みがある

■ マタイ福音書5:43～45

『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。

恵みに生かされているうちに

- 一瞬先の運命すら、私たちには分からない。
しかし、生かされているこの瞬間、悪人だろうと善人だろうと、信仰者だろうと不信仰者だろうと、主の恵みは、天から等しく注がれている。
- すべての人に、主が切に求めておられるのは、恵みに生かされている内に、ただ主に信頼すること。
主に生かされ、主の赦しの内に、今がある。

光があるうちに

■受難前の主イエスの言葉 マタイ12:35～36

「もうしばらく、光はあなたがたの間にあります。闇があなたがたを襲うことがないように、あなたがたは光があるうちに歩きなさい。闇の中を歩く者は、自分がどこに行くのか分かりません。

自分に光があるうちに、光の子どもとなれるように、光を信じなさい。」

この時代、すべての人に求められていること

- ① 生かされている内に、主イエスの**福音**を信じる
- ② やがて来る世の終わり（大艱難時代）においては、再臨の主イエスの来られる前に、**福音**を信じること。

■ 信じるべきことは、ただ一つの**福音**。

“神の子、主イエス・キリストは、私の罪のため、十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って復活された”

★ 光があるうちに 光を信じることができるように ★

- 頑なに悔い改めを拒み、裁きを受けたエホヤキン。
主は共におられ、長い苦難の末に、救いに導かれた。
- 今、与えられている恵み。この恵みを拒み通すなら、
主はやがて、その人から永遠に恵みを取り去られる。
- 死に対する人々の幻想が、打ち砕かれるよう祈ろう。
絶望の淵で、唯一の救いに立ち返ることができるように。

てん　　とう　　わたし　　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし　　かみ　　みこ　　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　　つみ　　あがな　　じゅうじか　　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　　ふっかつ　　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし　　あい　　ひとびと　　すく　　もと　　いの
私たちは、愛する人々の救いを求めて祈ります。

めぐ　　あた　　ふくいん　　しん
恵みを与えられているうちに、福音を信じることができますように。

かたく　　こころ　　しゅ　　う　　くだ　　たましい　　し　　やみ　　ちよくめん
頑なな心を、主が打ち砕き、その魂を死の闇に直面させてください。

ひかり　　み　　いのち　　みち　　た　　かえ
ただ一つの、光に満ちた命の道に、立ち返ることができますように。

しゅ　　な　　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　　アーメン」